WAKAYAMA WORKERS' UNION
# 組合NEWS
2026年10月8日(木)
第15431号
発行責任者
日本製鉄和歌山労働組合
組織教宣部

組合LINE　組合HP

代表内線番号　和歌山地区本部　543590
堺地区　652990/海南地区　545555

清末ひろよし議員市議会報告

和歌山労組の組織内議員である清末ひろよし議員が、９月２５日（金）に議会の場において、ゼロカーボンシティ実現に向けた取組みについて一般質問をおこないました。当日行われた行政とのやりとりを下記に記載します。


一般質問を行う清末議員

一般質問

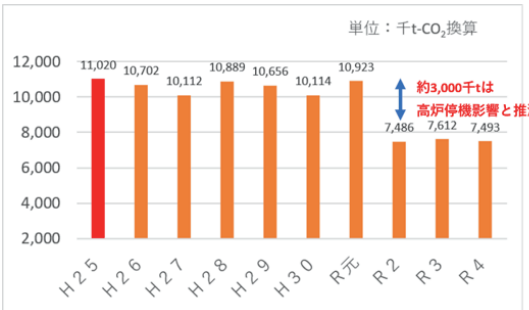
Q 和歌山市の温室効果ガスは、基準年度（平成２５年）から約３２．２%削減しており、その中でも製造業、特に鉄鋼業の削減が大きく影響している。市はこの要因をどう把握しているか。

A 製造業の約８割を占める鉄鋼業の排出量減少が大きく寄与していることや、各企業での脱炭素化の推進が影響していると認識している。加えて市としても省エネ化の補助事業を展開しているところである。

Q 鉄鋼業の温室効果ガスが削減された大きな要因は日本製鉄の「高炉休止」によるもの（※表参照）であり、それを除けば約１０%程度の削減量に留まっているため、取り組みが順調とは言い難い。また、極端な話をすれば、製造業がなくなればゼロカーボンシティを実現できるといった議論にもなりかねない。和歌山市において製造業は経済の中心である。市の企業で製造された「ＧＸ製品」を積極的に使用するような制度・条例の制定や、公共工事での積極使用を促す環境を整えることこそが、ＧＸ製品の予見可能性を高め、ゼロカーボンシティ実現に資する取り組みになると思うがどうか。

A ＧＸ製品については温室効果ガス削減効果の算定方法や評価基準など検討事項も多いため、先進他都市を参考に課題を整理していく。また、公共工事においては、インセンティブ付与など他都市の事例や国の動向を参考にしつつ、使用を促す環境を整える仕組みづくりに取り組んでいく。

Q 国が進める「ＧＸ戦略地域制度」において、和歌山市が最終的に選定されなかったことを踏まえると、他の地域でＧＸ産業が活性化した場合、市内の製造業の拠点が他地域へ移りかねないという危機感がある。和歌山市がＧＸ産業の拠点となるよう環境整備を進めることが、製造業のカーボンニュートラルと和歌山市のゼロカーボンシティ実現に資する取組みだと考えるが、市長の見解を伺いたい。



市域の温室効果ガスの排出量の推移（製造業）

A ＧＸ関連企業の誘致や市内企業の投資促進など、具体化を早急に進め、脱炭素化を企業成長を後押しする新たな契機と捉え、ＧＸ産業の拠点化ならびにゼロカーボンシティの実現を目指していく。

※ＧＸ製品とは、温室効果ガス削減や省エネなどに貢献する環境配慮型の製品を指す総称です。日本製鉄では「ＮＳＣａｒｂｏｌｅｘ　Ｎｅｕｔｒａｌ」などがＧＸ製品にあたり、国土交通省が発注する「グリーン鉄試行工事」の一部に採用されることが決定されています。

新・組合会館、１１月末竣工！
１２月より新たな会館での活動がスタートします。

１９６２年（昭和３７年）の建設以来、会社の構内で皆さまに親しまれてきた和歌山労組の組合会館ですが、老朽化に伴い現在建て替え工事を進めており、１１月末には竣工、１２月初旬に引越しを行う予定です。今回の組合ニュースでは、完成間近の新会館の様子や建設場所、そして今後の運用面における変更点についてお知らせします。



新組合会館 外観の完成パース図



内装の完成パース図（１Ｆ ロビー）



内装の完成パース図（２Ｆ 大会議室）

Ｑ＆Ａ 組合会館リニューアルの背景について

Ｑ．なぜ建て替えが必要だったの？
Ａ．現在の組合会館は建設から約６０年が経過し、老朽化が著しく、これまで二回の大規模補修と耐震補強を行ってきました。しかし、現在も二階の雨漏りや外壁のひび割れなどの劣化が進行してり建築物の寿命を考慮すると、これ以上多額の補修費をかけ続けることは現実的ではないと判断したためです。また、この課題に対し４年前から「労働組合会館のあり方検討委員会」を立ち上げ、３年前には「労働組合会館建設検討委員会」へと移行して慎重に協議を重ねた結果、組合会館の建て替えを決定いたしました。

Ｑ．なぜ「構外」へ移転するの？
Ａ．旧新日鉄の労働組合会館は製鉄所構外、旧住友金属は製鉄所構内といった立地の違いなどの歴史的背景も踏まえ、会社と組合の明確な線引きを図るべく、今般会社所有の「構外」の土地をお借りし新築する方針となりました。

現在建設中！新組合会館の状況について



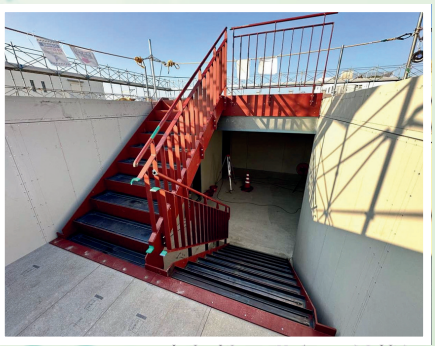
５月７日：地鎮祭



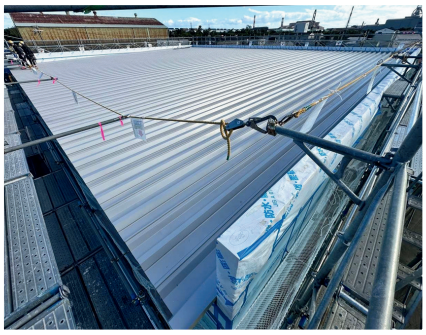
６月５日：礎・地中梁配筋状況



７月１６日：１階壁パネル建方状況



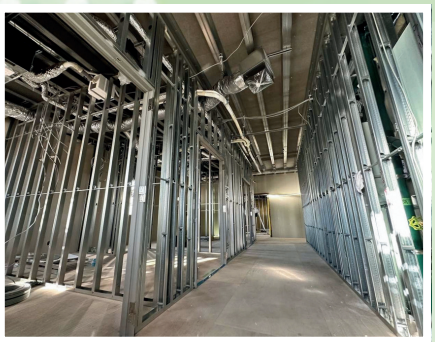
７月２２日：内部鉄骨階段取付状況



８月７日：屋根葺き完了状況



９月１８日：内部全景状況（１階）



９月１８日：内部全景状況（２階）



９月１８日：外部全景状況（北西）



１０月７日：外部全景状況（南西）

Ｑ＆Ａ 構外移転に伴う今後の運用・ルールについて

組合会館の移転に伴い、組合員の皆さまから寄せられた意見について会社と協議を重ね、以下の通り運用ルールを決定いたしました。

Ｑ．作業服を着用したままの移動は「ＯＫ」？

Ａ．組合会館への移動は業務上の都合に準ずるものと捉えられ、規定上の制限もないため、**作業服のまま新組合会館へ移動しても問題ありません。**また、他事業所の状況を確認したところ、他所でも作業服着用のまま構外の組合会館へ移動している実績があり、全社的な基準に照らし合わせました。

Ｑ．新組合会館に近い「東門」から自動車で入構できる？

Ａ．現在、東門の夕刻開門時間（１５時３０分～１９時００分）は、構内からの退場専用として運用されています。この時間帯で構外からの自動車入構や特例措置として「月２回のみ」「事前申請制」といった限定的な条件で、入構の許可ができないかを担当部門（警防）と協議してまいりましたが、退場車両と交錯するなど、**安全上のリスクが非常に高いとの理由から「対応不可」**との結論にいたりました。皆さまの安全確保を最優先とした判断であるため、ご理解をお願いいたします。

Ｑ．機関会議の開始時間に変更はある？

Ａ．夕刻の東門からの入場不可に伴い、南門へ迂回する必要が生じるため、移動に伴う和歌山地区の不就業時間を「前後１５分」から「前後３０分」へと拡大します。これにより十分な移動時間が確保されるため、**開始時間の変更は行わず、これまで通りの時間で機関会議を開催**いたします。

・中央委員会／支部長会議：１７時１５分～　・青女委員会：８時３０分～

新組合会館の場所について

新組合会館へは、東門または南門から川沿いを北へお進みください。
（※詳細は掲載の地図をご参照ください）
住所：〒６４０－８４２５　和歌山県和歌山市松江１２５５番地の１８





日本製鉄労連
機関誌名大募集中！

日本製鉄労連では、定期的に発刊している「機関誌」について、組合員とそのご家族の皆さまにより身近に感じていただけるよう「新しい機関誌名」を募集しています。見事採用された方には、５０，０００円相当の豪華賞品がプレゼントされますので、皆さまの素敵なアイデアを、ぜひ下記よりご応募ください。また、機関誌についてはＨＰや公式ＬＩＮＥからもご覧いただけます。これを機に日本製鉄労連の公式ＬＩＮＥへのご登録をよろしくお願いいたします。



機関誌名応募用
ＱＲコード

機関誌名応募用ＵＲＬ
https://forms.cloud.microsoft/r/JC7mkjEhS6

日本製鉄労連公式
ＬＩＮＥアカウント

日本製鉄労連ＨＰ

HPログイン用ID
wakayama
パスワード
wakayamapw